

2017年度  
埼玉地区主題

主にある交わりを  
深めよう

日本基督教団関東教区

# 埼玉地区通信

2017年8月6日

発行人 日本基督教団 関東教区

埼玉地区委員会

委員長 川 染 三 郎

鴻巣市東1-1-27

http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/

印刷所 (株)シャローム印刷

## 地区総会報告

二〇一七年度埼玉地区総会は、三月二十日(月)上尾合同教会を会場に、議員百四十名中一〇〇名の出席を得て開催された。

開会礼拝は、この三月で大宮教会を辞された疋田國磨呂牧師の説教、ご奉仕で守られた。



総会議長  
は川染三郎  
牧師(地区  
委員長・鴻  
巣)が担つ  
た。また、関

東教区問安使、熊江秀一牧師(副議長・新津)と小林祥人牧師(宣教部委員・取手)の挨拶を受けた。

(一)二〇一六年度地区諸報告、地区会計決算報告及び会計監査報告が、質疑応答後、賛成多数で一括承認された。

(二)地区委員長選挙  
川染三郎牧師が過半数の得票で再選された。

(三)地区委員選挙

教師は、大坪直史(熊谷・新)、小林眞(岩槻・新)、指方周平(東所沢・新)が選出された。信徒は大熊眞弓(東京聖書学校吉川・新)、川口孝弘(埼玉新生・再)が選出された。任期継続中の教職は、久保島泰(東大宮)、末永廣(小川)、町田さとみ(初雁)。

信徒は、栗原初音(浦和別所)、国府田秀行(上尾使徒)。なお、野村忠規(東松山)、山岡創(坂戸いずみ)は二期四年を満了された。



(四)二〇一七年度宣教活動計画について  
地区主題は「主にある交わりを深めよう」、聖句は「二つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」(コリントの信徒への手紙I 十二章二十六節)を継続とした。

活動は以下の四つについて検討することが川染三郎委員長より提起され賛成多数で可決された。

①最寄り区教師会が中心になり、

きめ細かな交わりを深める。

②最寄り区の活動を活発にして、各教会・伝道所の一致と連帯の強化に努める。

③委員会活動が、最寄り区の諸教会・伝道所に浸透して、活性化させる。

④二〇一六年度から始めた伝道協力協議会の活動(教会間の伝道支援や人的応援)を盛んにする。

(五)二〇一七年度予算について会計の国府田委員より説明があり、賛成多数で可決された。

(六)議案第八号・地区会計監査委員選出、第九号・地区総会議事録承認、第十号・次期地区総会会場及び日程については、地区委員会に付託することが、賛成多数で可決された。

二〇一七年度の埼玉地区の活動が、主にあつて真の教会の豊かな交わりとなりますよう祈り願います。



最後になりましたが、会場を提供しご奉仕くださいました上尾合同教会の秋山徹先生と教会員の皆様、心から感謝申し上げます。  
(末永廣 地区書記)

## たね

◆詩を書こうとしたら／目の前に／フレコンバッグの山がある／これを書けという／切なくなるから嫌だ／と 言う／書かなければならないものは書く／これが詩を書く姿勢だ／と 叱られた(中略) 切ないね／と 言う／戻りたくても戻れない人がいる／その代弁者が／今は 詩なのだ(後略)：「フレコンバッグ」より『夢の壺』木村孝夫詩集 (土曜美術社出版販売)

◆福島県富岡町を磐城教会の皆さんと住民のS氏に案内していただいた。この詩の作者(磐城教会員)も同行してくださった。フレコンバッグ(大型袋状の包材。中に放射能汚染物が入っている)の山、山。避難指示解除区域の空き地にも山積みになっている。

◆「キリスト教関係の人が一番忘れないでいてくれる。うれい」とS氏。祈り続けた。  
(田中記)

# 新地区委員紹介

## 委員長あいさつ

### ＋相互の理解と協力を

鴻巣教会 川染 三郎



埼玉地区委員長の二期目にあたり、思うところを書きます。

最大の課題は各教会が伝道力をつけることです。キリストの教会は、頭なるキリストがお働きになる場で、十字架と復活にある救いの恵みに満ち溢れています。しかし、現実にはキリストの恵みが覆われて、教会の力がそがれていると言わなければならぬ現状です。そのため、教職が教会の現状を正しく把握して、教会のあるべき姿を回復しなければならぬのです。そのために、教師会の充実をはかりたいと思います。埼玉地区には六十一の教会・伝道所があり、教会の交わり、絆が大雑把になっているのかもしれない。地区には教会のような教会性はありませんが、地域共同体としての教会の交わり、連帯を強化しなければ

なりません。埼玉地区には現任陪餐会員が二十名以下の教会が四分の一あります。これらの教会が自給独立の教会になるために、伝道協力体制をつくらなければならぬのです。そのために、教職が教会の交わりと連帯の先頭に立っていただきたいのです。相互の教会が見える関係となるために、埼玉地区にある三つの最寄り区を活用して、地域共同体を形成していきます。教師委員を各最寄り区三名にしていたとき、その教師が伝道・教育・社会委員会の連絡役になり、地区常設委員会の活動を各最寄り区につなげていただきます。地区の活動が、各教会につながり、各教会の活動が豊かになるよう願っています。地区の講壇交換を最寄り区内でしていただき、最寄り区内諸教会の交わりを深めるようにしていただきます。教会相互の理解を深めるとともに、教会の相互協力を生み出したい。昨年度は、教会音楽委員会が奏楽者のいない教会のために奏楽者を派遣しました。このような相互協力体制を作り上げ、地区諸教会が、キリストの血の通った交わりを作り上げます。(地区委員長)

## ＋地区委員に選出されて

岩槻教会 小林 眞



三月の地区総会で地区委員に選出された。正に「晴天の霹靂」そのものである。ただ、牧師として、教会総会の長老選挙などで「選挙は神の選びを知る方法です」と言ってきた手前、引き受けざるを得なかった。

岩槻教会に遣わされて二年。地区に来て単純に驚かされたことは、もより区牧師会の出席の少なさ！二教会合計三十八年在任した東海教区では考えられないこと。ある先輩にその原因を聞くと「一番の理由は、教団紛争の図式そのもの」と言う。

教団紛争は、私の卒業の前年から始まっているので、私の伝道・牧会の期間に一年を加えればよい。つまり四十八年。けれども回復の道筋は、優等生的に考えると「教団の信仰告白と教憲・教規」に立っしかない。そこには議論の根拠はないのだから。という大きなことを言う前に、まず地区の教会名と教師名を覚えるのが先決…。

## ＋地区委員に選出されて

東所沢教会 指方 周平



地区委員に選出された時は頭が真っ白になりました。

た。東所沢教会に赴任して五年が過ぎましたが、私は地区総会では発言したことがなく、大宮教会にもまだ行ったことがないほどで、地区の連帯や活動に対してあまり意識のない自分に地区の働きが担えるのだろうかかと、選出後一カ月はしんどかったです。ただ、これまで自分の使命感や決断に根差した働きは長続きしませんでした。が、礼拝によって開始された地区総会の祈りの中で選出された役割ならば、自分の自覚や都合に左右されない働きの、自分を造り、全ての教会の頭である主によって招かれたのだらうと、徐々に思えるようになってきました。

少しづつではありませんが、主において埼玉地区諸教会・伝道所のために祈ってまいります。皆様も私を思い出した時に祈っててください。

## ＋主の御用のために

熊谷教会 大坪 直史



地区総会で、初めて地区委員に選出され、主の御心と信じてお受けしました。

神学校卒業後、初任地の高原教会(沖繩教区)八年、熊谷教会二年、今年度で牧師になって十一年目です。埼玉地区は六十一教会・伝道所で一地区ですが、一教会の規模があります。このような大きな地区で、無知で無力な私に、何ができるかわかりませんが、ただ十字架と復活の主の御守りと御導きを願いつつ、地区委員の皆さま、また地区の皆さまと共に、区内諸教会・伝道所の主にある一致と豊かな交わり、教会形成と福音伝道、何よりも主の御用のために、少しでもお役に立てれば幸いです。

与えられた務めに祈りつつ臨みたいと思います。お祈りに覚えて頂ければ感謝です。「人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する。」(箴言十九章二十一節) 愛唱讃美歌…コリ一十章十三節 愛唱讃美歌…讃美歌二八四

主様がご入用なのです

東京聖書学校吉川教会

大熊 眞弓



埼玉といつても千葉の隣の埼玉県に位置する「東京聖書学校吉川教会」の信徒です。

数年前に埼玉地区婦人部の書記を務めさせていただきまし

た。しかし、地理に弱い私は、教会名を聞いてもそれがどこにあるのかイメージできない者であります。欠けの多い者ですが、委員に選出されたときに示された以下の御言葉を握って、努めてまいります。「主がご入用なのです。」「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ。」「神を愛する者たち、つまりご計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということとを私たちは知っています。」

お祈りに覚えていただければ幸いです。



主様に信頼して

埼玉新生教会 川口 孝弘



まず始めに、これまでの二年間何事も不慣れな

中、皆様に支えられて無事に委員をやり遂げることができましたことを感謝します。二期目となりませんが、引き続きご指導を仰ぎつつ、地区の皆様との交流を深め、祈りの課題を分かち合いながら主のご用にお応えしたいと思えます。自分自身を知恵あるものと思わず、謙虚な心で喜びをもってご奉仕させていただきますので、よろしくお願ひします。

今、地区内の教会・伝道所には多くの課題や困難があり、希望より不安を感じてしまうことがあるかもしれません。しかし、私達の前には、神の愛、キリストの福音を待つている人々がたくさんいるはずで

す。このような時代だからこそ、教会がより一層必要とされると感じます。ですから、すべてを益とさせていただき、主を信頼して、心を高くあげ、与えられている道を共に歩んでいきましょう。

新任教師ご紹介

就任にあたって

大宮教会 熊江 秀一



四月より大宮教会に赴任しました。新

潟地区・新津教会での二十二年度の伝道・牧会を終えての新生活です。のんびりとした新津と違い、戸惑うこともありませんが、教会と幼稚園で楽しく仕えています。

私は一九六四年、長崎生まれで五十三歳です。長崎平和記念教会が出身教会です。

長崎大水害を経験して、人間の生死を自覚し、京都にある大学の神学部に入學。卒業後は広告代理店に就職しました。しかし企業や商品を宣伝するよりも、福音を宣伝(宣べ伝えよ)との召しを受け、東京の神学校に編入學しました。

新潟地区では教会と共に地区の連帯の中で育てていただきました。「にいがた・たがいに」の連帯の恵みです。埼玉地区には関東地区副議長として総会や集会に数回出席させていただきました。お交わりをいただいています。

主様に期待しつつ

東京聖書学校吉川教会

原田のぞみ



この春、現場に遣わされて三十年目の節目に出身校

である東京聖書学校に教務教師(舎監補)として、また東京聖書学校吉川教会の担任教師として、宮崎清水町教会(九州教区)から、赴任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

元々、埼玉地区の西川口教会から献身させていただきましたので、埼玉地区は私自身、特別な思いを持ちつつ過ごしています。そして今まで、地方教会が長く、一地区で六十以上の教会・伝道所を持つ大きな地区にはいたことがないので、これから、どのような出会いがあり、交わりが与えられるか、ワクワクと少しの不安を覚えながら、主に期待しつつ歩ませていただきたいと思います。

個人的に人見知りなところもあり(この年で言うかつて感はありませんが…)最初取っ付きにくいかもしれませんが、不機嫌な訳ではないのでよろしくお願ひいたします。



✦就任にあたり

上尾使徒教会 武井アイ子



上尾使徒教会教師として  
四月十日を  
もって就任し

ました武井アイ子です。

埼玉地区では、三区の熊谷教会で長らく信徒として、また神学生として過ごさせていただきました。

二〇一三年の東京神学大学修士課程前期終了より西東京教区の清瀬信愛教会の協力教師と報恩会チャプレンとして四年間奉職し、この度の運びとなりました。高齢での就任ではありませんが、初めての牧会に身の引き締まる思いをしています。導いてくださった神様と上尾使徒教会の皆さま、また埼玉地区の皆さまに感謝いたします。そして、これからの教会、そして地区の働きに新人の身ながらご奉仕をして神様にお応えしたいと願っています。よろしくお願いたします。

✦一つになって集まって

埼玉中国語礼拝伝道所 林美音



台湾長老教会から埼玉中国語礼拝伝道所へ派遣されました林美音です。

この教会は、伝道所とはいえ、来年の五月で創立二十周年を迎えます。開拓者、李秀雲牧師が亡くなられてからの四年間は、秋山徹牧師(上尾合同)が御多忙の中、お力を貸してくださり、また教団の皆様のお祈りの支えで、今日まで来られたことだと思えます。

異なった文化の人々が、教会に集まり、共に礼拝を守っています。正に、使徒言行録二章一節に記されている「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっている」という光景です。これは、李先生の志でもありました。

このような特殊な教会を如何に牧していくか、牧師にとっては、大きな課題であります。引き続き、皆様のお祈りをお願い申し上げます。

✦飯能教会に就任の挨拶

飯能教会 木村光寿



三月に日本聖書神学校を卒業し、主任担任教師として飯能教会に就任した伝道師の木村光寿と申します。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

飯能教会は七十年の歴史があり、先達の信徒と歴代の牧師により神の導きのもとに造り上げられた共同体であります。飯能教会の伝統に学ばせて頂き、会衆の方々と対話しながら、神はこの飯能教会に何を求められているのかを常に問いつつ、伝道者としての務めを果たして参りたいと思えます。

また、今日の現実社会において、悩み苦しんでおられる方が多くあり、魂の救済を求めて飯能教会を訪れる方もあるかと思えます。主イエスが病にあり人々を愛し、そして、寄り添い癒したように、新来者や信徒のことを心から愛し、共に喜びと悲しみを分かち合うことができる牧者でありたいと思えます。

✦地域に根差して

埼玉和光教会 岩河敏宏



二〇一七年四月より、埼玉和光教会と小羊幼稚園の歩みに連ならせていただきました。家族五人とも関西(西宮・大阪)育ちのため、全く土地勘もなく不慣れですが、徐々に馴染んでいければと思っております。

昨年度は、最上光宏牧師が代務者に就いて下さり、深い配慮をもって導いて頂きました。とを心より感謝申し上げます。また、各教会員が神への信頼を失わずに、祈りを絶やすことなく忍耐して過ごされたことを想う時、少しでもそれに応える働きが出来ればと願っています。

埼玉地区の皆様を支えられて、埼玉和光教会と小羊幼稚園がこれからも地域に根差し信頼を得る歩みを継続していかよう願っています。

✦本庄教会に遣わされて

本庄教会 疋田國麿



今年に入って大宮教会退任後の歩みについて祈って

いたところ、一月十七日の夜、サイタマ・デイサイプル・チャーチビジョンを与えられました。二月に入り、全くの想定外のこと、秋山徹先生を通して本庄教会を紹介され、四月から主任担任教師として就任することになりました。

就任式の時、熊江秀一牧師より、「アブラハムは『主の祝福の源となるように』と召され、主の言葉に従って旅立ったとき七十五歳であったように、疋田先生も本庄教会で祝福の源となる御業に仕えてください」と奨めを頂きました。確かに私も数えて七十五歳、遣わされて三ヶ月、主の祝福の源となるビジョンを本庄教会の兄弟姉妹たちとワクワクして祈り描いています。

\* \* \*



◎湯目瑞枝先生(東京聖書学校吉川)のご紹介は次号にいたします。



# 集会報告

## 婦人部の総会を終えて

所沢武蔵野教会 森生 郁代

四月十七日(月) 十時より大宮教会で「二〇一七年度埼玉地区婦人部総会」が開かれました。四十二教会・伝道所から出席者百二十名(代議員四十二名)が参加しました。川染三郎地区委員長(鴻巣)、熊江秀一牧師(大宮)を迎え、大坪園子牧師(熊谷)の説教による開会礼拝後、総会に入りました。

議案①～③の二〇一六年度活動と決算および、議案④で新委員五人(委員長-森生郁代(所沢武蔵野)、副委員長-吉岡幸子(上尾合同)、書記-白川典子(埼玉大通り)、会計-川島睦子(行田)、教区-西谷美和子(大宮))が承認されました。議案⑤⑥二〇一七年度活動と予算が承認され、新委員での二年間の地区婦人部が船出しました。

まず、私たち委員が神さまから用いられている恵みを感じます。個性豊かな委員が揃い無限の力を秘めての出発です。皆さまのご加勢をお願いいたします。(婦人部委員長)

## 十IT祭り

上尾合同教会 岩佐 浩一

第十六回IT祭りは「メディアア伝道の可能性を探る(パート六)」のテーマで二〇一七年六月十八日(日) 十五時から埼玉新生教会を会場として開催いたしました。

講師には日本FEBBCの長倉崇宣氏、特別ゲストとして小池与之祐牧師(神の愛キリスト伝道所)をお迎えしました。

小池牧師は、十六年間日本FEBBCでお話しをされてきて、現在毎週水曜日に「御足の跡を」という番組で「説教をしなさい、神さまのなされることだけを話す」ということを念頭に置いて続けられておられます。小池先生のお話の中で興味深かったことは、「今時ラジオを聴いている人は少ないけれども、FEBBC放送には一人ひとりの心に深く届く力がある」とおっしゃったことでした。

日本FEBBCの長倉さんは、「パワーポイントを用いて『中の人』が語る、メディア伝道の難しさ、そしてその喜び」と題して講演を行ってくださいました。日本FEBBCのインターネットでの試みでの失敗例もあげ、それぞれの教会でのイン

ターネットでの伝道の働きに、その失敗例が役に立てばという思いで、ていねいに用意された話をしてくださいました。詳細はホームページで音声での講演をお聞きください。



お二人の講演の後、久喜復活伝道所、七里教会、三芳教会のそれぞれの教会のホームページを紹介していただきました。最後に全員の集合写真をとって十七時に終了となりました。参加者は十二教会二十七名でした。

(ホームページ委員会)

## 十役員・伝道委員研修会

春名 至

七月九日(日) 午後三時から埼玉新生教会に於いて「役員・伝道委員研修会」を埼玉地区伝道委員会の主催で開き、十四教会四十二名参加でした。

「埼玉の伝道を考える」をテーマとして田中かおる先生(安行)による発題を聴き、それを受け五つのグループに分かれて、話し合いをしました。発題では、初めに現代の日本伝道の問題点として、次の二点を挙げられました。

- ①信仰の個人化や「継承」という言葉への偏見からの信仰継承の意識の希薄性。
- ②伝道の担い手は誰か。主なる神か。牧師か。信徒か。

「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。(コリント一三章六節)」を引用して、安行教会の伝道【安行教会・伝道ビジョン】の事例を通して話して下さいました。その中で、『わたしの伝道』より参照があり、①伝道は神の御業。②よき信仰者、良き伝道者モデルに出会っている。③伝道は牧師一人ではない。④伝道のビジョンや戦略は必要。

この「埼玉」という土壌に植えて・水をやり・言葉をかける等は、私たちが担えますが、「成長させてくださったのは神です。」神の御業のみ成せることです。…だから、伝道は楽しい、と結んでくださいました。



五つの分団のうち、第三分団の事例から、①各教会の伝道の特徴が語られていた。②歴史の長い教会が多かった。③親子何代か継続している家族がある一方、信仰の継承の難しさ、子供に教会生活を強制はできないなど。④若い方への伝道をどのようにしていくか、どのように迎えるか、などの話題もありました。分かち合いを感謝します。(伝道委員会委員)

### ✦青年部「春の集い」

東所沢教会 指方 周平

六月十二日午後三時から五時半まで狭山教会を会場に埼玉地区の六教会・伝道所から十二名が集まって青年部「春の集い」が開催されました。

前半はサンドイッチを頬張り談笑しながらのプラ板製作。約五センチ四方に成形された透明プラ板に油性ペンで好きな絵や字を書き込んでオーブンレンジで加熱すると四分の一程に縮小されてステンドグラスのように見事なアクセサリーができあがります。プラ板にびっしりと書き込まれた「主の祈り」や中国語で書かれた「ヨハネ三章十六節」。お気に入りのロゴやキャラクター等の自慢の作品もでき上がり、小さな鑑賞会になりました。

和気藹々となった後半は礼拝をささげ、森淑子牧師(狭山)が「キリストによって」「キリストにおいて」と繰り返し返されているエフェソ一章三〜十四節より三位一体の神秘を解き明かしてください、キリストにおいて満ちあふれている神の恵みの喜びを一緒に分かち合いました。

(教育委員会委員長)

### ✦教会音楽講習会

浦和東教会 岩佐眞知子

七月八日(土) 第一回教会音楽講習会が、埼玉新生教会に於いて、十六教会、二十八名の参加で行われました。

今年ルターの宗教改革五〇〇年の記念すべき年であることから、小田部進一先生(玉川大学文学部教授・三二教会)をお招きし「ルターの宗教改革の(は)じまり」ルターの讃美歌の根底にあるもの」と題し、ルターの生涯と転機、すなわち人生の転機でどの様にルターが宗教改革に至ったかを、語って頂きました。



### 講演は冒頭、「ルターを記念する」ために一五四六年二月十八日のルターの死からはじまりました。当時の様子は周囲の人々による詳細な記録から、現代の私達にも思い巡らすことができます。

時代は遡り、一五〇五年七月十七日、死に関する幾つかの経緯をきっかけに、ルターは修道院に入り、恩師と出会い、聖書を繰り返し読むことになりました。そこで人間はみな罪人であると同時に、みな愛されていると気づきます。このことは当時のローマ・カトリック教会の贖宥制度を批判することにつながり、一五二七年十月三十一日「九五カ条の論題」を提出し、ルターの宗教改革は始まりました。

小和田先生は気さくなお人柄で、講演中の質問にも丁寧に答えてくださいました。また、当時の資料やルターゆかりの町並みの映像も交えて、奥深く語って頂き、充実した学びになりました。良い機会に恵まれ感謝致します。

第二回十二月九日(土)の講演も心待ちにしております。今回出席されなかった皆様も、是非一緒にルターの宗教改革について学びましょう。

### ✦教師一泊研修会

埼玉大通り教会 川添 義和

七月十日(月)〜十一日(火)に教師委員会の一泊研修会が別所沼会館へリテイジ浦和で行われました。講師は千葉北総教会牧師の大串眞先生でした。三十二名の出席者(講師を含めて)が与えられました。

大串先生の一日目の講演は、宿毛栄光教会(四国教区)、二日目は、千葉北総教会(東京教区)での歩みを話されました。



様から声が聞こえてきました。「そっか。お前は歩めない。しかし、私は歩める。」マルコ十章二十七節「人にはできないが神にはできる。神は何でもできるからだ」。このみ言葉が与えられ、神に信頼して、委ねて歩むことに気づかされたと話されました。

二日目の講演は、千葉の二十一教会が協力して千葉北総教会を建てようという志が与えられて大串先生が招聘され、鎌ヶ谷教会から十三名が与えられ千葉北総教会の歩みが始まり、様々ありましたが、試練を乗り越えて土地、会堂が与えられたことを話されました。

また、二日目は「宗教改革」について秋山徹先生(上尾合同)に発題をしていただき、「神の義とは、神の恵みとこの上ない神の慈しみを通して与えられる」ことを話されました。

二日目の早天礼拝は三羽善次先生(和戸)、閉会礼拝では野村忠規先生(東松山)からみ言葉を聞きました。

二日間、大串先生より貴重な牧会経験を聞くことができ、神の導きによって祝された研修会でした。

(教師委員会委員長)

# 特集

このページは、毎号三つの教会・伝道所から「今・そして課題と展望」をご紹介いただき、地区内の教会を互いにもっと知り、より身近に感じながら「主にある交わりを深める」地区の主題への一助になる事を願っています。

\*\*\*

## 十教会設立の

### 出発点に立って

越谷教会 石橋 秀雄

越谷教会は、二年後に創立百三十周年を迎えようとしている。越谷に福音の種を蒔いたのはグリーンング宣教師だ。グリーンング宣教師については、教会の火事によって全ての資料が焼失したため、ほとんど分からなかった。しかし、宮城学院から「米國改革派外国人伝道局五十年年史」をいただき越谷教会が燃えた。その資料によると、米國改革派教会は当時ほぼ教団と同じ規模で、経済的に貧しい教会が、「福音に燃え、熱心に祈り、主の伝道命令に誠実に従って外国人伝道を、日本伝道



を」と宣教師達を日本に送って、東京、埼玉、東北、山形、北海道と福音の種を蒔き、教会を設立して行った。グリーンング師は同教会が日本に派遣した最初の宣教師だ。越谷教会の課題と展望は、この越谷教会設立時の出発点に立ち返ることだ。

「伝道力の命と力の回復」が、越谷教会の課題であり、日本基督教団の全ての教会の課題だ。主の伝道命令「マタイ二十八章十九節〜二十節」が越谷教会の新年度の主題聖句となっている。越谷教会の出発点に立ち返り「福音に燃え、熱心に祈り、主の伝道命令に誠実に従って、伝道力の命と力を回復して伝道する。」このことが越谷教会の課題であり、そこから展望が開かれると伝道に取り組んでいる。

## 十主の「ご再臨の時まで

深谷西島教会 竹内紹一郎

二十年前、一度は教会存続を諦めた私達の深谷西島教会でしたが、埼玉地区、関東地区の皆様のお励まし、お祈り、そして「ナルドの壺献金」でのご支援により、今も教会活動が続けられております。現在、深谷市内と埼玉県北部の町々から幼子から高齢の八十歳代の方々が集まり主日礼拝を捧げる恵みに与っています。

今の目標は、主の御再臨まで私達の教会が深谷市とその近辺での福音宣教を進め、一人でも多くの方と共に御国を受け継ぐことです。そのために、今、高齢者の方々の礼拝出席サポート（教会車送迎）と自宅・病床での聖餐式執行、そして幼児・児童と保護者伝道に力を入れていきます。

今年七月十七日（海の日）には、不登校や引きこもりの経験を通し生み出された神様への賛美により、多くの人に勇氣と希望を与えてくれた Misawa (みぎわ)さんをお迎えして「Misawa コンサート」の開催を予定しています。深谷市内外の子ども達と保護者、また一般の方も対象にした伝道コン

サートです。引き続きお祈り、お励ましをお願い致します。  
(五月二十日記)



## 十朝霞教会について

朝霞教会 鎌木 順子

朝霞教会の紹介、現状と課題を書くようにと言われて困りました。書くことが思いつかないからです。



現状は現住陪餐会員は牧師の息子を含めて四人。ということとで、課題は、会員が少ない、将来性がない、伝道ができていない、会堂が古くなっている、お金がない、などわかりきったことばかり。ではそれらに対して具体的にどうするかというところになってしまいます。

教会で越生に墓地を購入した時、朝霞教会を始めた信徒の夫妻が自分の墓地を売って献金しました。その方が召された時、教会の墓地に入るようすすめたのですが、「教会がなくなると困るから」と親族の方に断られました。「そんなことはない」と言いたかったのですが、朝霞より活発に見えた北川辺が活動休止になるのですから、簡単なことではありません。

そう言うと暗そうですが、笑い声の絶えない教会です。小さい教会に比べると大変そうと思われるのですが、小さいから無理をする、大きいから手を抜くのではなく、どこでもやれること、やるべきことをそれぞれがやるのは同じだと思います。

順風満帆とはいきませんが、感謝と祈りをもって歩んでいきたいと思えます。

地区委員会報告

二〇一七年度第一回委員会

日時 三月二十日(月)

会場 上尾合同教会

出席 十一人

陪席 七人

●主な協議事項

一、埼玉地区総会諸報告承認及び議案決定事項の確認の件

総会補助書記の澁谷実季牧師・山野裕子牧師の陪席のもと、二〇一七年度埼玉地区

総会報告の承認と議案の決定事項の確認を行った。

二、地区委員の担当・役割分担の件

委員長 川染三郎

副委員長 小林 眞

書記 末 永廣

会計 国府田秀行

補助書記 川口孝弘

補助会計 町田さとみ

伝道 久保島 泰

教育 指方周平

社会 小林 眞

教師 町田さとみ

地区通信 大熊眞弓

H P 大坪直史

修養会 末 永廣

壮年部 「未定」

婦人部 栗原初音

青年部 指方周平

障教懇 「未定」

教会音楽 川口孝弘

埼玉宗連 竹内紹一郎・委嘱

同宗連 竹内紹一郎・委嘱

川越少年刑務所教誨師

山岡 創・委嘱

小林則義・委嘱

カルト問題 白石多美出・委嘱

三、委員会日程と会場の件

第二回 五月二日(火)

会場・埼玉新生教会

●閉会祈祷 川染三郎

二〇一七年度第二回委員会

日時 五月二日(火)

会場 埼玉新生教会

出席 十一人

欠席 無

陪席 無

主な報告

●地区内の教会・教師の報告

○就任

・大宮 熊江秀一(正)

・大宮 熊江知恵(正)

・東京聖書学校吉川教会

湯目瑞枝(未)

原田のぞみ(正)

・上尾使徒 武井アイ子(正)

・埼玉和光 岩河敏宏(正)

・飯能 木村光寿(未)

・本庄 正田國磨呂(正)

・埼玉中国語礼拝伝道所

林 美音(宣)

○代務就任

・北本

阿部洋治(補)

○辞任

・大宮 正田國磨呂(正)

・大宮 正田勝子(正)

・東京聖書学校吉川

佐々木千沙子(正)

・上尾使徒 松本 周(正)

・上尾使徒 松本のぞみ(正)

・飯能 土橋 誠(正)

・愛泉 正田義也(正)

・本庄 飯野敏明(正)

○代務辞任

・埼玉和光 最上光宏(正)

・埼玉中国語礼拝伝道所

秋山 徹(正)

○隠退

・大宮 正田勝子(正)

○会計報告

四月一日から五月一日分

●各委員会・各部報告

●主な協議事項

一、地区総会付託議案に関する件

○議案第八号 地区会計監査

選任の件 継続審議。

○議案第九号 地区総会議事

録承認に関する件「二〇一七

年度埼玉地区総会議事録」

を承認。

○議案第十号 次回地区総会

会場及び日程の件

日時二〇一八年三月二十一

日(水)午前九時三十分〜午

後四時と会場教会の候補を

挙げ、継続審議。

二、地区委員会主催集會等に関する件

①新年合同礼拝の件

日時二〇一八年一月八日

(月)午前一〇時三〇分開始と

会場教会の候補を挙げ、継続審

議。

②地区総合協議会の件

日程二〇一八年二月十三日

(火)午後七時開始と会場教

会の候補を挙げ、継続審議。

③伝道協力協議会の件

日時内容を三役会一任の上

次回協議。

三、地区委員会日程及び会場等

に関する件

次の予定を承認した。

第三回 七月十一日(火)

第四回 九月十九日(火)

第五回 十一月十四日(火)

第六回 一月二十三日(火)

第七回 二月十六日(金)

会場・埼玉新生教会

四、地区総会設営に関する件

設営担当の群馬地区からの

依頼により第六十七回関東

地区総会運営奉仕者を決め

た。

五、各部・自主活動委員会報告

者の件

壮年部・障教懇の地区委員

担当について三役会に委ね

ることを承認した。

六、第六十七回関東地区総会選

考委員会推薦者の件

三役会へ一任することを承

認した。

●閉会祈祷・小林 眞

編集後記

二〇一七年度地区総会において選出され二期目を担われる地区委員長をはじめ新地区委員の方々にご奉仕への思いを寄稿していただき、また、地区の八教会に就任された教師の皆様が宣教への思いを伝えていただきました。そして今年度既に開催した委員会や部会の集會報告もいただきました。一昨年来、「特集」として毎号三つの教会・伝道所から「今・そして課題と展望」について寄稿していただき、「主にある交わりを深める」地区の主題が活かされ、相互理解が深められることを期待しています。愈々真夏！二年毎に開催する地区全体教会修養会、各教会やその地域で計画している夏の行事が、主のお守りとお導きの中で無事に行われますように、またその一つ一つが、収穫の秋への備えの時となりますよう祈りつつ、今年度第一号をお届けします。(茨木)